

語りの祭りイベント続々…

～あなたも語りを聞いてみませんか？～



いよいよ「語りの祭り」のパンフレットができあがり、参加受付が始まりました。

多くの皆さんのお申し込みを心からお待ちしています。

さて、語りの祭り修善寺実行委員会では、

10月の祭り当日の細かい計画に携わると同時に、市民の皆様「語り」を聞いていただく機会を設ける計画を進めています。

その中のひとつに「語りキャラバン」があります。

これは、伊豆市内の小中学校を訪問して、子どもたちや保護者の皆様に生の「語り」を聞いていただくというものです。旧修善寺町内の小学校では昨年いくつかのクラスを訪問し、子どもたちに「語り」を楽しんでもらいました。地域の小中学校で一人でも多くの皆さんに語りの世界に触れていただけるよう、ただいま計画調整の真っ最中です。どうぞお楽しみに！

第7回全日本語りの祭り修善寺実行委員 鈴木せつ子



昨年の『語りキャラバン』の様子

写真=伊豆日日新聞提供

静岡県の昔話 ② ～『河童の妙薬』～

むかし、雲金に相磯主水守清というすぐれた医者があった。

ある日、守清が病人をみた帰り、狩野川の浅瀬を渡ろうとしたところ、突然馬の尾をつかんで水に引き入れようとした者があった。

（さては噂に聞く河童の仕業！）と思った守清が、刀を抜いて切りつけたのは、まぎれもなく水掻きのついた河童の手であった。守清はその手を刀の先につき通して我が家に持ち帰った。

その夜、守清の枕頭に片手の河童が現れて泣く泣く「いたずらをしたことは誠に申し訳ありません。どうぞお許してください。どうか、私の腕を返していただきたいのですが…」と言った。

守清は腕を返すかわりに、河童からどんな傷もたちどころに治る妙薬の作り方を教えてもらった。その薬は、たいへんな効き目があり、たちまちあたりに知れ渡った。

参考資料：『天城の史話と伝説』 天城湯ヶ島町文化財保護審議委員会編



お問い合わせは、
修善寺図書館 0558-72-9868 までどうぞ！
『語りの祭り』情報は、
<http://www.shuzenji.jp/npo/katari/index.htm>
にも掲載されていますので、御利用ください。

編集後記

いよいよ受付が始まりました。
たくさんの方が申し込んでくれると
いいなあ・・・4月29日(祝)、ギャラ
リーしゅぜんじ回廊でのイベントの
報告は次号でお知らせします！！

(Y) (K)

